

\*ETK1145048\*

CFJB01-U1C<4> 工法書

## ▽安全上のご注意…安全にご使用いただくために必ずお読み下さい

本項は、人身への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。

|                                                                                                                                                     | 本光接続箱に関する安全上のご注意                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <b>危険</b><br>右記内容を見逃して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|  <b>警告</b><br>右記内容を見逃して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。         | <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>不安定な場所に置かない</b><br/>本光接続箱は、運搬中、据付中にぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置くと転倒、落下等の事故が起こり、けがの原因になります。安定する場所を据付場所を選び確実に固定して下さい。</li></ul>                                                                                                                |
|  <b>注意</b><br>右記内容を見逃して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>手をはさまない</b><br/>ドア等の開閉時、指や手をはさむとケガの原因になります。</li><li>・ <b>突起物、鋭利な部分に注意する</b><br/>刃物、工具類などのご使用には注意して下さい。<br/>突起物、鋭利な部分に十分に注意して下さい。特にしゃがんで作業されて立ち上がる際には注意して下さい。</li><li>・ <b>ケーブルの取扱いに注意する</b><br/>剛性の強いケーブルは暴れやすくなっているので注意して下さい</li></ul> |
| <b>お願い</b><br>右記内容を見逃して、誤った取扱いをすると、本製品の性能を発揮できない可能性および、機能停止をまねく可能性が想定されます。                                                                          | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 光ファイバ心線に関しましては、許容曲げ半径「<math>R \geq 30\text{mm}</math>」をお守り下さい。</li><li>・ 融着作業に関しましては、ご使用の融着接続器添付の取扱い説明書をご覧ください。</li></ul>                                                                                                                  |

## ▽作業フロー

表 1. 主構成品

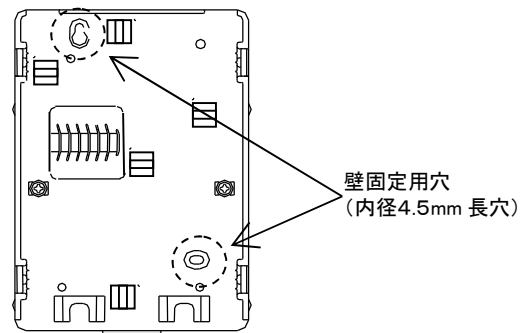
| 部品名         | 構造・用途                   | 数量 |
|-------------|-------------------------|----|
| ケース         | 光ケーブルの接続に必要な部品を配置・固定する。 | 1組 |
| アダプタ固定プラパネル | SCアダプタを固定。              | 1枚 |
| SCアダプタ      | 光コード同士のコネクタ接続を行う。       | 2個 |
| 接続部ホルダ      | 融着／メカニカルスプライス接続の固定を行う。  | 1個 |
| テンションメンバホルダ | ケーブルのテンションメンバを固定する。     | 2個 |
| ワイヤサドル      | 心線及び単心コードの余長を収納を行う。     | 5個 |
| 防塵スポンジ      | ケーブル導入口の防塵を行う。          | 2個 |

(注) 融着補強スリーブ及びメカニカルスプライスは本製品には含みませんので別途ご用意下さい。

## ▽組立方法

### 1. 接続箱の固定

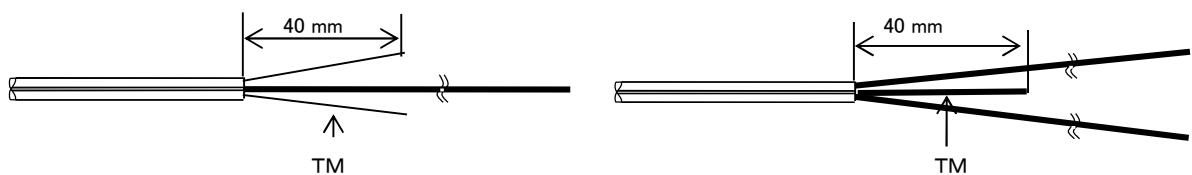
- ・ ケースを外す。
  - ・ 接続箱を壁面にネジでしっかりと固定する。
- ※接続箱固定用のネジは添付されておりません。壁の強度や種類に合わせてネジを準備して下さい。



### 2. ケーブルの処理

#### 2-1. テンションメンバ付きケーブル処理

- ・ 下図の通り 40mm で T M を切断し外被を剥ぎ取って下さい。



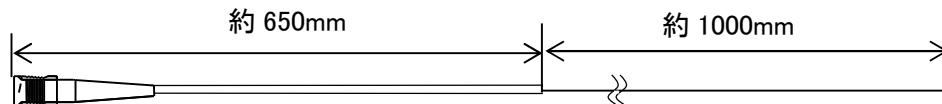
※心線長はアダプタにコネクタを取り付ける位置によって長さが異なりますので、あらかじめ仮収納して長さを決めて下さい。

#### 2-2. S C コネクタ付きコードの処理

- ・ 二次側ケーブルがコネクタ付きで無い場合は S C コネクタ付きコードと二次側心線を融着若しくはメカニカルプライスで接続します。その時のピグテイルの処理は下図を参考にして下さい。

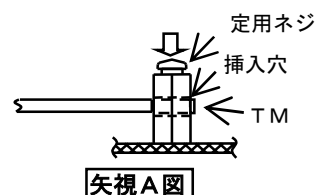
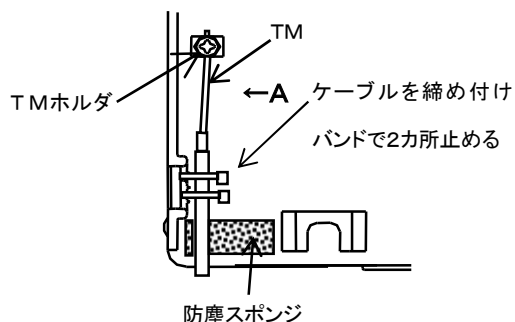
※外被の引き裂き及び切断時に心線を傷つけないように注意して下さい。

※寸法は一例です。現地の状況に応じて変更して下さい。



### 3. ケーブルの固定

- ・ 防塵スポンジの切り込みにケーブルを挟む。
- ・ T M ホルダの挿入穴に T M を挿入し、固定用ネジを締め付ける。
- ・ 外被を添付の締め付けバンドで 2 カ所締めつける。
- ・ ドロップケーブル、インドアケーブル、単心コードも同様の固定方法として下さい。
- ・ 締め付けバンドの締め付け部分は内側（筐体側）にして下さい。
- ・ ケーブル固定後は、T M ホルダを添付の T M 保護カバーで保護して下さい。



#### 4. 心線（コード）の収納

##### 4-1 1次側、2次側コネクタ付きケーブル（コード）の場合

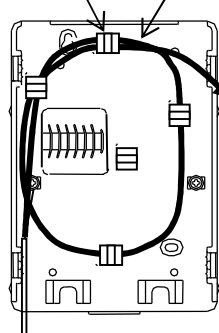
※アダプタ固定プラパネルのプラスチックヒンジに大きな負荷が加わらない様に注意して作業してください。

##### 【収納例】

###### ① 1次側心線の収納

- ・ 1. 2番心はアダプタ固定パネルの右側アダプタ上段に挿入。
- ・ 3. 4番心は左側下部に挿入。

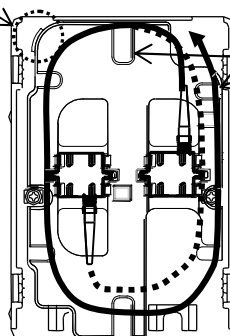
ワイヤサドル ファイバ



本体側で余長を1周半させ、右上よりアダプタパネル側へ導出する。

1次側

1次側  
注)開閉時取手部



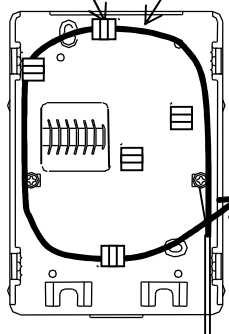
—— 1. 2番心線  
..... 3. 4番心線

ファイバガイドを通して  
アダプタパネル上で余  
長を収納し、アダプタに  
コネクタを差し込む。

###### ② 2次側心線の収納

- ・ 1. 2番心は右側アダプタの下段に挿入。
- ・ 3. 4番心は左側上部に挿入。

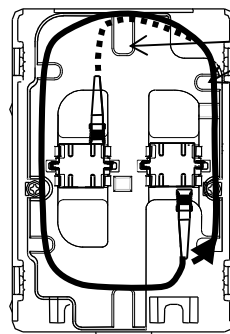
ワイヤサドル ファイバ



本体側で余長を1周させ、右下よりアダプタパネル側へ導出する。

2次側

2次側

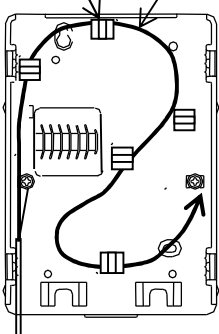


—— 1. 2番心線  
..... 3. 4番心線

ファイバガイドを通して  
アダプタパネル上で余  
長を収納し、アダプタに  
コネクタを差し込む。

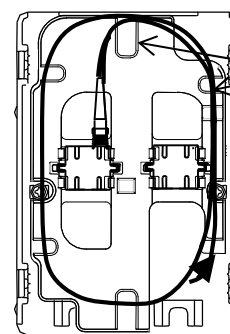
※上図のように収納出来ない場合、たとえば左導入ケーブルを左上段アダプタに挿入する場合は下図を参考に収納下さい。

ワイヤサドル ファイバ



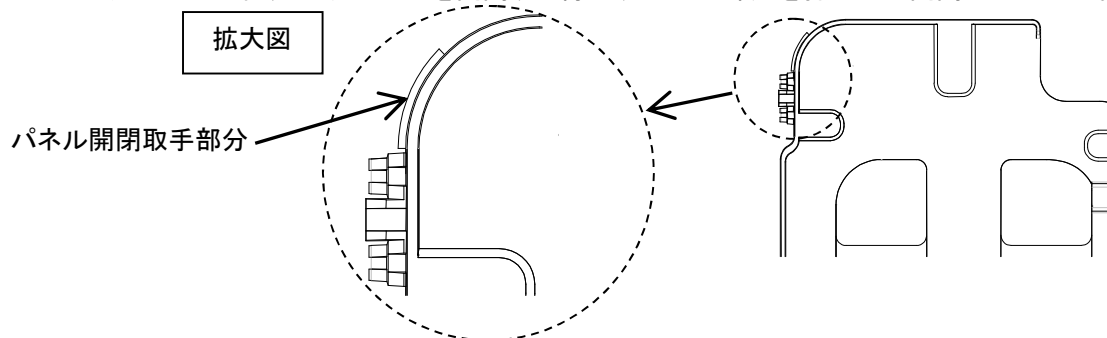
本体側でS字収納し、右下よりアダプタパネル側へ導出する。

1次側



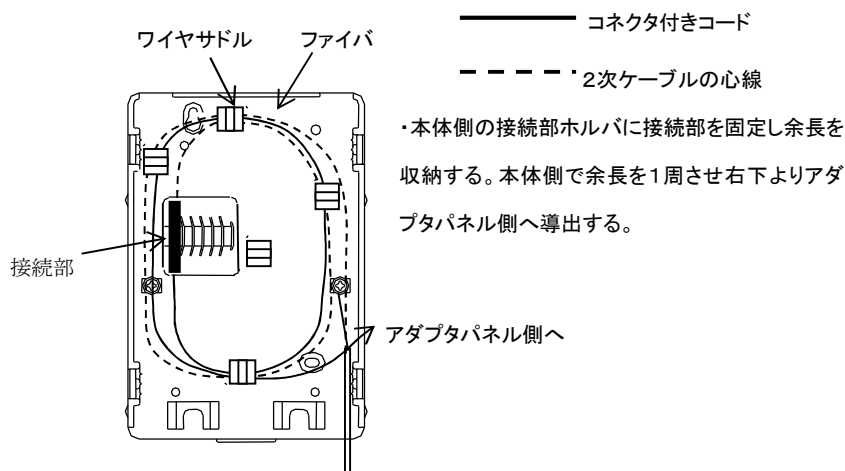
ファイバガイドを通して  
アダプタパネル上で1周  
巻き、左側アダプタの上  
段に差し込む。

注) アダプタ固定プラパネルを開閉する際は、下図の部分を押さえて開閉して下さい。



#### 4-2 2次側ケーブルにコネクタ付がいない場合 (S C付きコードと接続)

- ・ 2次側ケーブルの心線とコネクタ付きコードの接続を行う。
- ・ 2次側心線は本体側で収納する。
- ・ コネクタ付きコードは、本体側で余長を収納しコード部分をアダプタパネル側へ導出し、アダプタに挿入する。



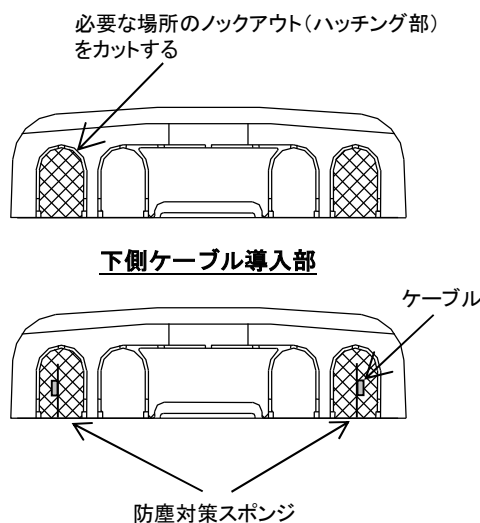
※収納完了後はワイヤサドルのフックが閉まっていることを確認してください。

#### 5. カバーの取り付け

- ・ ケーブルの導入本数に応じて、蓋のノックアウトをニッパ等でカットする。

※ノックアウト部のバリは出来るだけ綺麗に取り除いて下さい。

※カバーを被せる際に心線を本体との間に挟み込まないように注意して下さい。



以上